











KinoDenアプリ スタートガイド

アプリで大学の電子書籍をもっと便利に!



My本棚に登録で すぐに読める!



一冊全文 ダウンロード



しおり・メモ マーカー機能



関東学院大学 KinoDen

https://kinoden.kinokuniya.co.jp/kgu/

STEP 1

OliveNetに接続した状態で スマホやパソコンから KinoDenにアクセスし、 本を検索します

読みたい本の詳細画面から 〔My本棚に登録〕 ボタンをクリックします

STEP2

案内にしたがって 電子ブック用アカウントを 作成します

アカウントは メールアドレスやSNS連携で 作成できます

STEP 3

専用アプリ「bREADER」を インストールし、 先ほど作成したアカウントで ログインします

My本棚に登録した本が アプリで読めます



STEP

まずはブラウザからアクセスする

OliveNetに接続した状態で関東学院大学 KinoDenにアクセスし、 読みたい書籍の画面から〔My本棚に登録〕を押します。





STEP

個人アカウントを作成する

案内にしたがって電子ブック用アカウントを作成します。 アカウントはメールアドレスやSNS連携で作成できます。 作成したら、再度〔My本棚に登録〕ボタンを押します。





→トップ画面の右上からも サインイン可能です

STEP アプリから電子書籍を読む



ご自身の端末にアプリをダウンロード。

(初回のみ、STEP2と同じアカウントでアプリ上でサインイン) アプリを開くと、My本棚に登録した電子書籍が表示されます。



OliveNetへの接続なしで アプリから直接読める!



紀伊國屋書店

よくあるご質問 🚻

01:電子書籍のブラウザ閲覧とアプリでの閲覧の違いを教えてください。

ブラウザからの閲覧は、検索等により必要な場所をすばやく参照することに適しています。 一方、アプリではご自身の端末に全文をダウンロードして、快適・軽快な環境で じっくり通読できます。しおりやマーカーをつけることができるのはアプリだけです。

O2:電子書籍に返却期限はありますか?

閲覧型のサービスのため、貸出・返却は不要です。

ただし、長期間KinoDenサイトにアクセスがなかった場合は、電子書籍をアプリで開く前にサイトへのアクセス・bREADER Cloudアカウントへのサインインが必要です。

卒業・退職等によりKinoDenの利用資格がなくなり、

サイトにアクセスできなくなるとKinoDenの電子書籍はご利用できなくなります。

Q3:同時閲覧アクセス数について教えてください。

ご利用の機関の電子書籍コンテンツの契約状況により、

ブラウザまたはアプリで同じ電子書籍を同時に閲覧することのできる人数には制限がありますが、 おおむね同時に1名がアクセスできます。

閲覧できない場合は、少し時間をおいて再度試してみてください。

(コンテンツごとの同時に閲覧可能な人数はKinoDenサイト上で確認できます)

04:自分でつけたしおりやマーカーは、いつでも呼び出せますか?

はい、呼び出せます。同じbREADER Cloudアカウントでサインインすれば、 複数のデバイス間で同期できます。

ただし、電子書籍をMy本棚から一度削除すると、再度My本棚に同じ電子書籍を登録しても 以前のしおりやマーカーは復元しませんのでご注意ください。

Q5:アプリから電子書籍の本文ページの印刷はできますか?

アプリでは印刷はできません。印刷する場合は、ブラウザにてご利用ください。 ただし、出版社の許諾等により印刷不可のものがあります。 また、印刷可能なものも印刷ページ数に上限があります。

06:アプリを開くとエラーになりました。

KinoDenサイトに長期間アクセスしていない場合、アプリで閲覧できないことがあります。 ブラウザでKinoDenサイトへアクセス→bREADER Cloudアカウントのサインイン(STEP2)を 再度行い改めてアプリを開いてみてください。

【お問い合わせはご利用の図書館または以下まで】

(料紀伊國屋書店 学術情報販売促進本部デジタル情報営業部 Tel:03-6910-0518 e-mail: <u>ict_ebook@kinokuniya.co.jp</u> (平日9:30-18:00 土日・祝日・年末年始は除く)



関東学院大学図書館の搭載点数は約1,500冊!

ブラウザ版では未購入図書の試し読み・購入リクエストが可能です。 未購入図書を含めた検索可能対象は約77,000点です。

※2024年12月現在

たとえばこんな本が電子ブックになっています































